槐魂

～12月号～

生徒会広報部

冬休みまであと少し！ 今年の締めくくりをしよう！

中学遠行成功 笑みこぼれる

十一月十七日（金）に行われた、神川大滝公園遠行。今年が初めての中学遠行となったこともあり、先生方の計画も大変だったようです。よって、距離にして約二十・八キロメートルのその長い道のりを、一期生から三期生まで、ほぼすべての生徒が完歩を成し遂げました。

完歩までの道のりの中で、いくつかのチェックポイントを通ってきました。その中でも、先生方・PTAの方々から応援を聞いた生徒は、きっと希望を持つことができたと思います。

二十・八キロメートルの道のりを完歩し、神川大滝公園についた生徒は、「インターネットで調べた画像と全然迫力が違って、驚いた。また、この遠い道のりを歩いてきたので、その感動は大きかった。来年の中学遠行でも、完歩してこの楽しみを味わいたい。」と話していました。

ゴール地点の神川大滝公園の大滝。
迫力があり、疲れを癒してくれました。

今回の遠行の努力は、来年の遠行にも活かすことができます。また、どんどん寒くなっていくこれからの季節に、体調管理を気を付けましょう。

（中井）

技術部 来年につなげる

十月二十八日に行われたロボットコンテストに、鹿児島県予選が行われました。二年生が出場した活用部門では二位、一年生が出場した基礎部門では三位でした。よって九州大会に出場しました。その速報と出場した選手に話を伺いました。

【試合結果】

・活用部門
予選負け

・基礎部門
予選負け

【大会を通して】

・活用部門
自分たちが考えもしなかった機構のロボットがたくさんあり、面白かった。素晴らしい性能に感服した。／ロボットの発想が違っていた。これを糧に良いロボを作っていきたい。

・基礎部門
県大会とは電池を運ぶ量もスピードも桁違いだった。来年に生かしたい。／県大会で調子に乗って自分の力を過信し、応援してくださった人に応えることができず悔しかった。

【これからの目標】
今回の九州大会で実力の差を見せつけられた。来年につなげたい。

【顧問から】
中村先生：九州大会のレベルの高さを実感した。出場した生徒の反省会を踏まえ、ロボットのアイデアを見直し全国大会への出場に挑みたい。

（宮島）

蛍光ペン ✿ 著：宮島

▼創立から三年目の楠隼。それでも倍率はとても高い。その中で選ばれた六十人がいま楠隼に通っている▼楠隼で生活して、やりがいを感じることはあるだろうか。この学校ではトップリーダー養成のため、様々な将来を考える機会がある。校長先生の掲げる「来たるべき日」のために農漁業民泊体験、職場体験学習、フロントランナーとの出会いのほかトップリーダー教室や寮生夜話と様々ある▼多くの機会に恵まれている楠隼。ほかの学校では成し得ないことができるのは周りから期待されている象徴ではないかと思う▼楠隼は地域の方々からの支援を多く受けている。その期待に応えるべく日々協力をしていかなければならない。先生のみならず友達同士で支えあっていくことが最高の近道になるはずだ。

おにぎり争奪戦 勃発

期末考査の前の憩いといえば、毎回恒例の「おにぎり大会」といっても過言でありません。今回二回目を迎え、フランクフルトとおにぎりが一人一人支給されました。一コマ目の学習時間から落ち着きがなく、五十分になった時には長蛇の列ができていました。その後早い者勝ちでおかわりができることが分かり、まだ落ち着きがありませんでした。争奪戦を制した人は歓喜を上げていました。ただ、けがはしないようにしてください。PTAの皆様ありがとうございました。（宮島）

↑おにぎり大会の様子。
おいしかったです。

↑争奪戦の様子。
怪我をしないように
注意を！

避難訓練　緊張が走った二十分間

今回の避難訓練は、学校・寮同時に行われました。学校の避難訓練では調理室から出火したという想定で、また寮での避難訓練は食堂の調理室から出火したという想定で行われました。「避難するときはできるだけ出火元から遠いところを通って避難する。」ということを教わりました。避難訓練を体験した生徒会副会長の金子さんは「今回の避難訓練で、もしも火災が発生した時どこに逃げればいいのかよくわかりました。これからはその知識を生かして、来年度になったら入ってくる後輩に教えてあげたいと思います」と話していました。

寮での避難訓練の後では消火を体験する体験活動を生徒会長の二人が行いました。

今回の避難訓練では、もしも火災が起こった時に大切な行動を教わりました。今回の避難訓練を忘れないようにしましょう。

（中井）

仰げば尊し～加世田先生～

「人の口からは、『＋』の言葉も『－』の言葉も出る。だから、『吐』くという言葉になる。『－』の言葉がなくなれば、君たちの夢が『叶』う。」

漢字を使った非常に面白い話だ。

「人の口から出るもの」で考えてみよう。何が思い浮かぶだろうか。実際、美しいものはあまり浮かんでこない。そう考えてみると、人の口から出るもので美しくなる可能性をもつのは、実は言葉だけなのである。

それにも関わらず、私たちはその言葉さえも「－」に使ってしまいがちである。他人を誹謗中傷する言葉、自分を守るためだけの嘘が世界中に溢れている。

そう思えば悲しいが、だからこそ、美しい言葉はその中で光り輝く。親友の励まし、家族の気遣い、スーパースターの名言。人間は無意識に「＋」の言葉に魅了される。

楠隼中学校の君たち、人の口から出るものは「－」であることが多い。そして、言葉さえも多くの人は「－」に使ってしまう。そうであれば、君たちこそ「＋」の言葉を使いこなせる「ことばの探究者」であってほしい。リーダーとなり、理想を叶えてほしい。その鍵こそ、君たちの口から日々出ているもの、まさにそれなのである。

【編集後記】

生徒会新聞十二月号が無事発行されました。今回は作成期間などの事情により、一面とさせていただきました。ただ、前回同様の生徒会新聞を作りました。来年からも生徒会広報部として月一回発行していきます。読んで得をする新聞を作ることが目標です。来年からもどうぞよろしくお願いします。それではよいお年を！

（生徒会広報部：宮島・中井）